

## 十和田の火山活動解説資料（平成31年1月）

仙台管区気象台  
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図1）

銀山に設置している監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

#### ・地震や微動の発生状況（図2）

火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

#### ・地殻変動の状況（図3、図5）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

---

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（[https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成31年2月分）は平成31年3月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び青森県のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。



図 1 十和田 中湖周辺の状況（1月26日）  
・ 銀山（中湖の北西約 6 km）に設置している監視カメラの映像です。

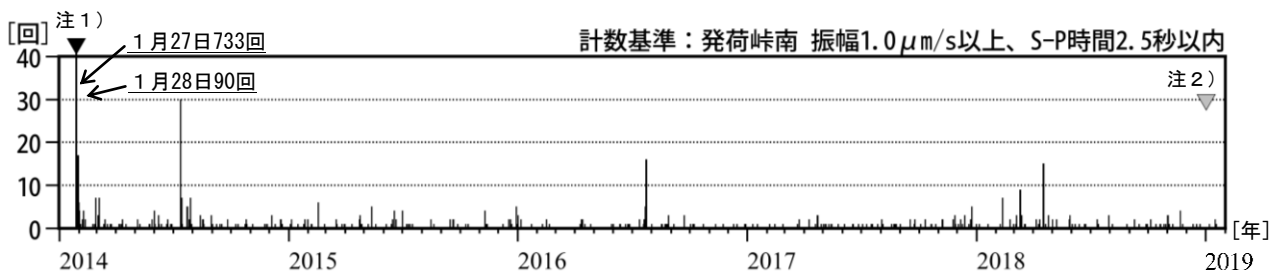


図 2 十和田 日別地震回数（2014 年 1 月～2019 年 1 月）

注 1) 2014 年 1 月 27 日より計数を開始しました。

注 2) 計数開始の 2014 年 1 月 27 日から防災科学技術研究所小坂観測点を基準としていましたが、2019 年 1 月 1 日から発荷峠南観測点を基準としています。

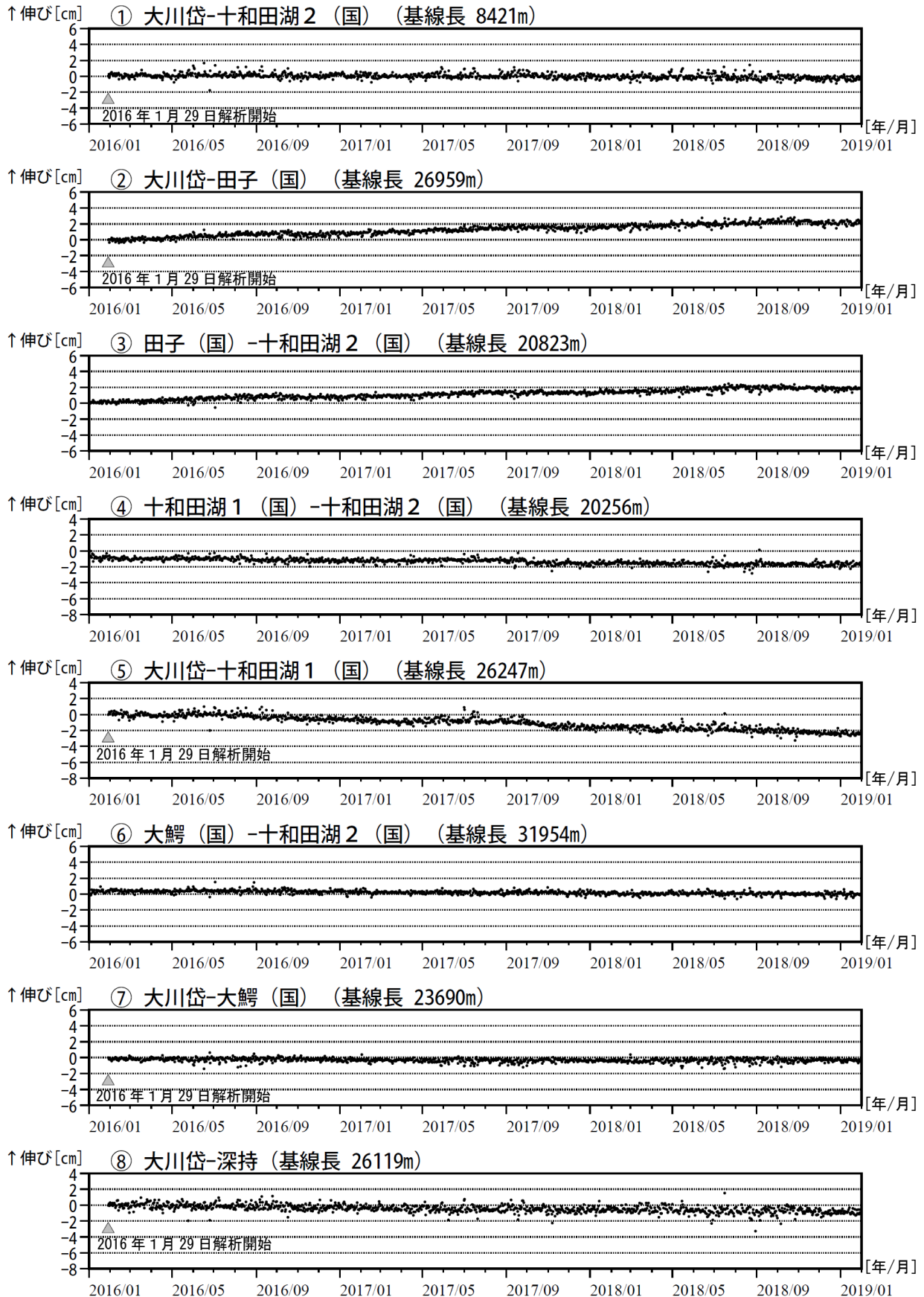


図 3 十和田 GNSS<sup>1)</sup> 基線長変化図 (2016 年 1 月～2019 年 1 月)

- ・空白部分は欠測を示します。
  - ・①～⑧は図 5 の GNSS 基線①～⑧に対応しています。
  - ・(国) は国土地理院の観測点を示します。
- 1) GNSS とは Global Navigation Satellite Systems の略称で、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示します。

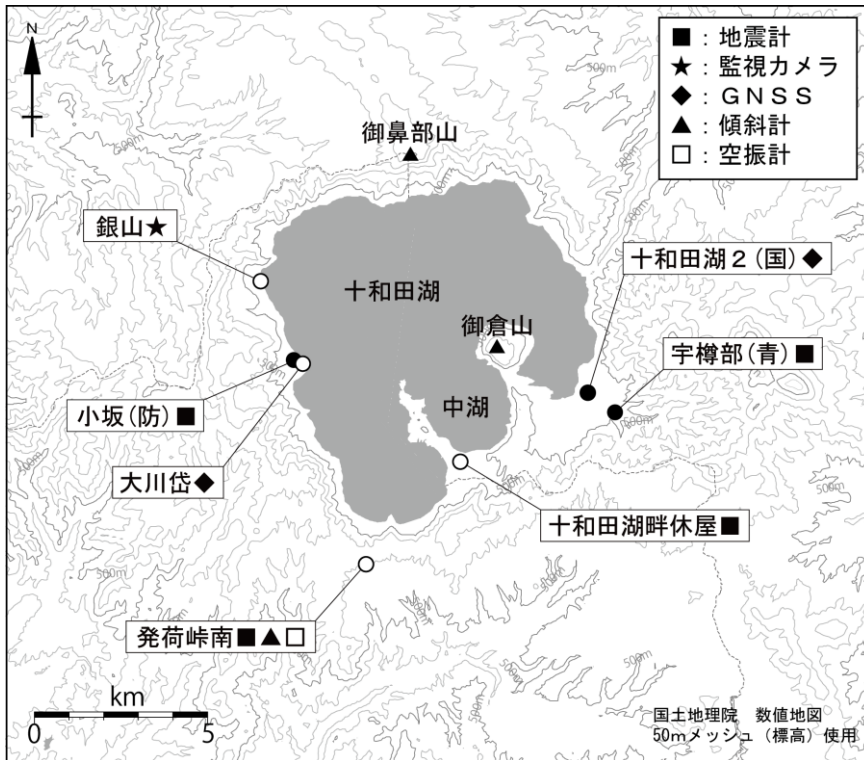


図 4 十和田 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国)：国土地理院 (防)：防災科学技術研究所 (青)：青森県

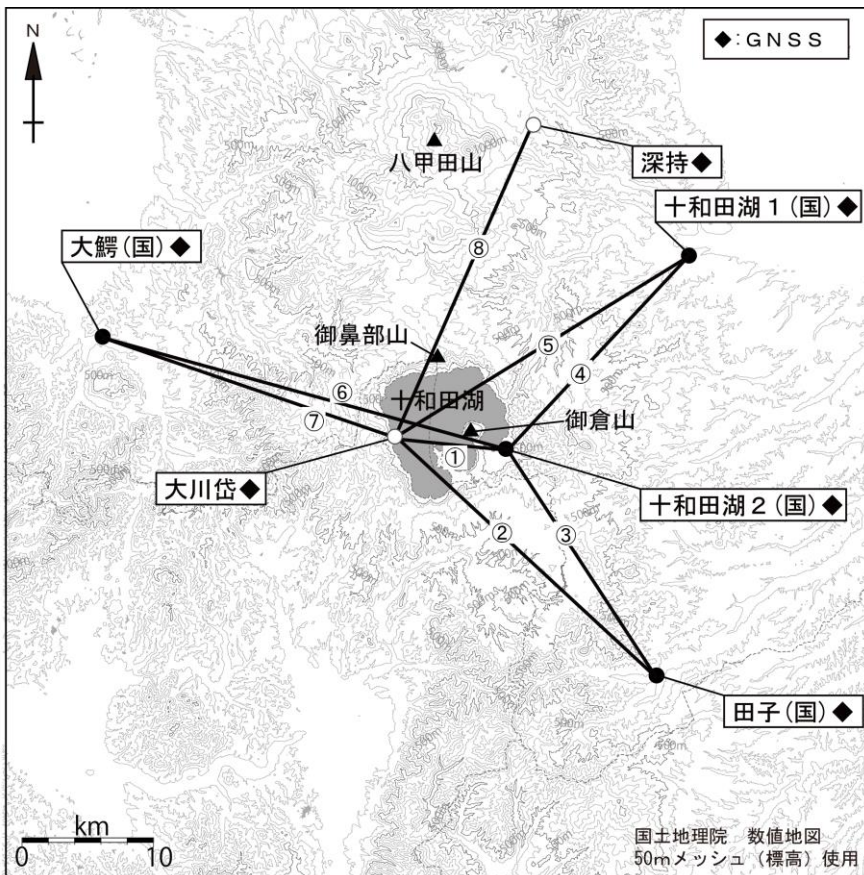


図 5 十和田 GNSS 観測基線図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国)：国土地理院